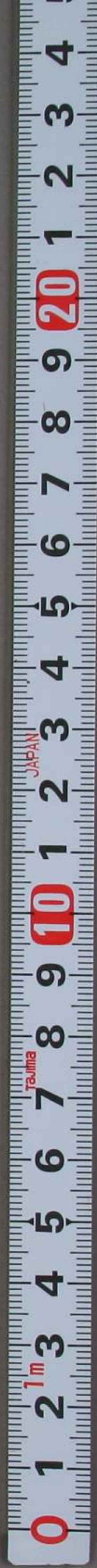


遠州流挿花意匠

四



79
615
4





昇平日久。閑人逸士。所遊藝事。
 亦復何限。其中品格最高。無復
 踪矣。清恬近道者。獨稱名。為然
 其為佳也。魁別草木之性。審陰
 陽向背之理。矯之操之。橫斜各
 異。以取其勢。天工人其代之。為非

易經
 再編

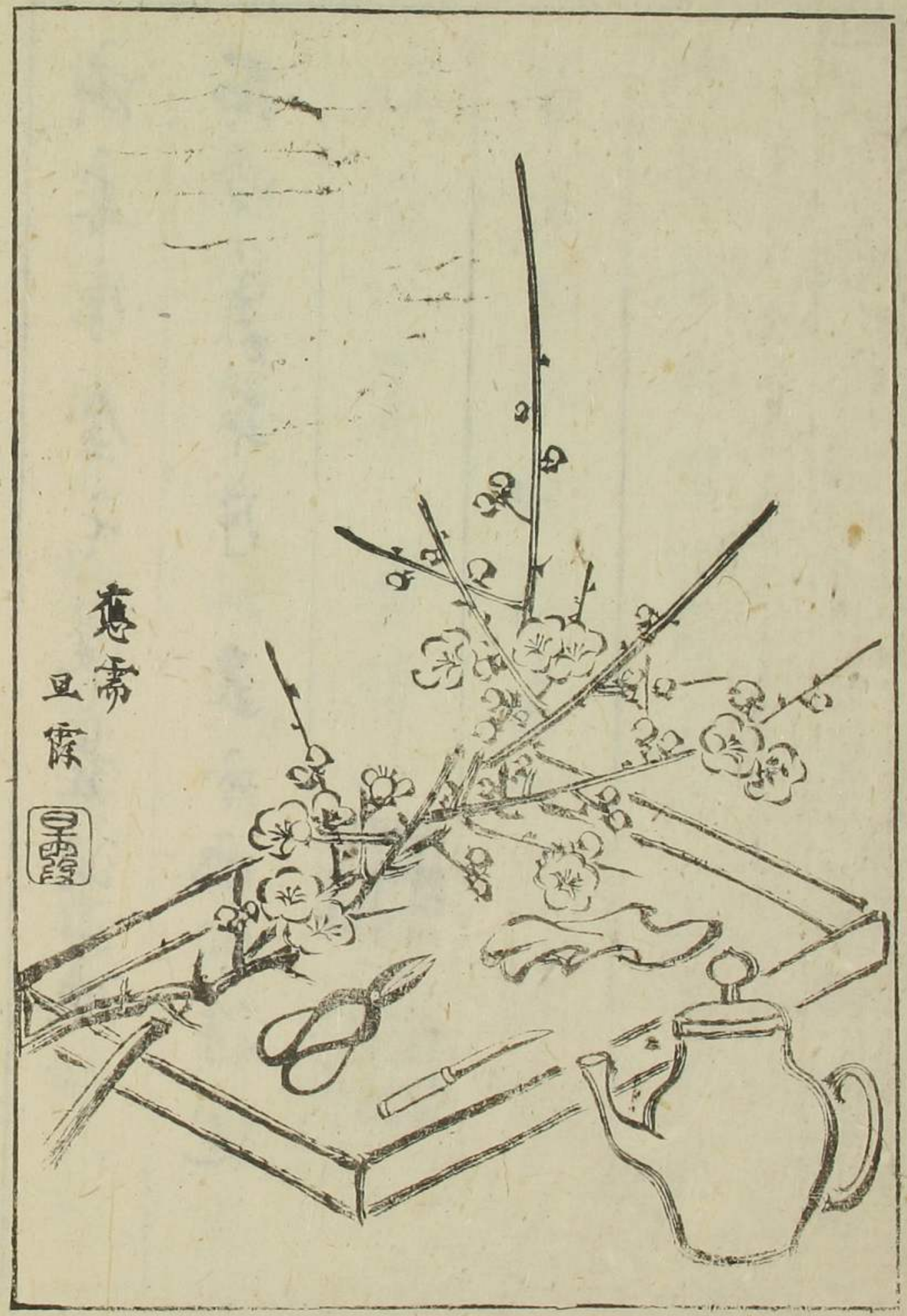
用心精巧則不易造也。夫能食
终日無所用心。聖人以奕棋為福
賢乎已。但奕棋者。必須敵手。滿
腹機心。蓄之要勝。以之揮花與
物無競。既自怡悅。又以樂人者。其
質果何如也。揮花表匠次編刻

成。其序余云。漫叟此議。

丙申嘉平月 五山池相孫述



意匠再備



惠需
且露
早露

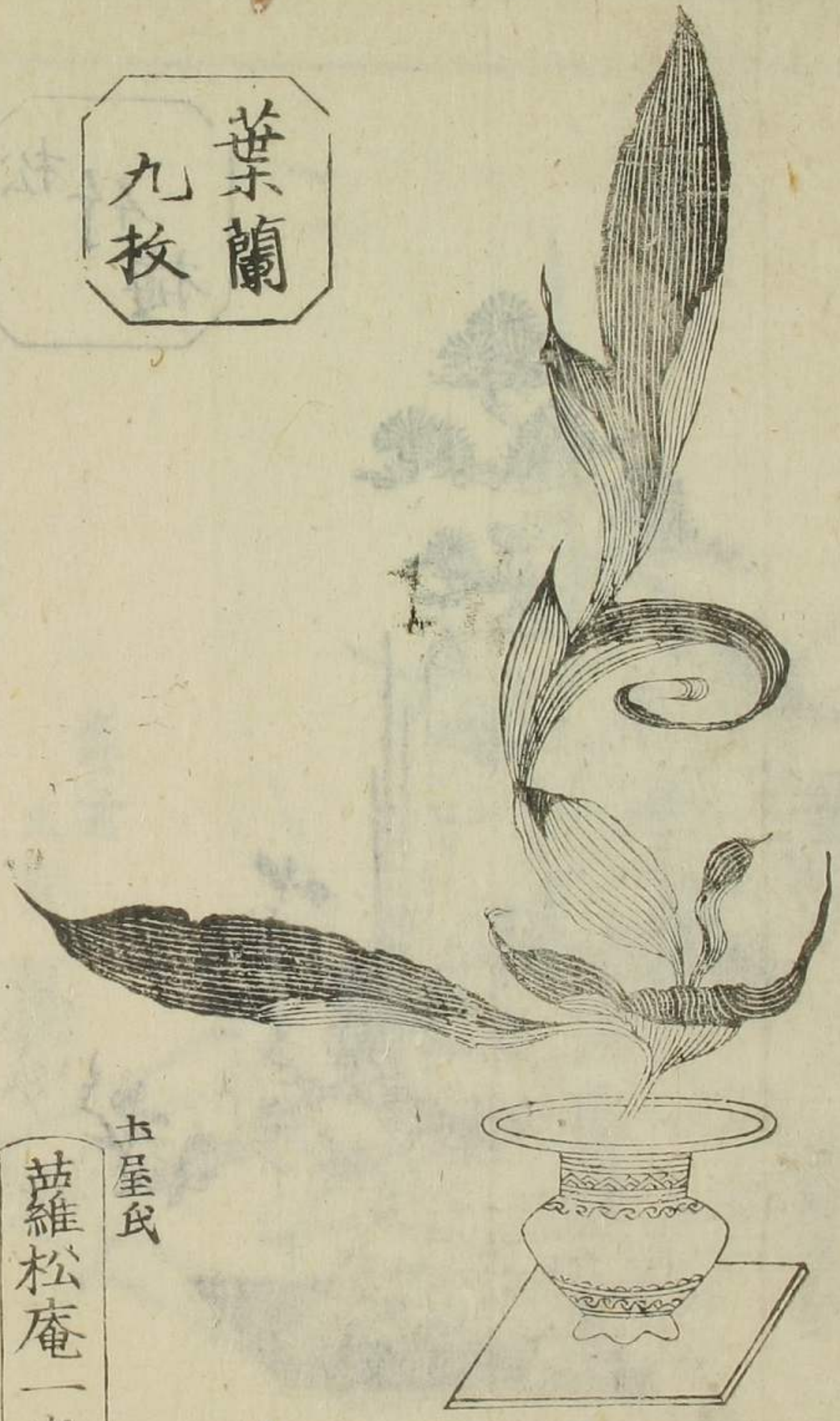
松
竹
梅



里松庵倅
鶴松庵一岡

景元再備

三



葉蘭
九枚

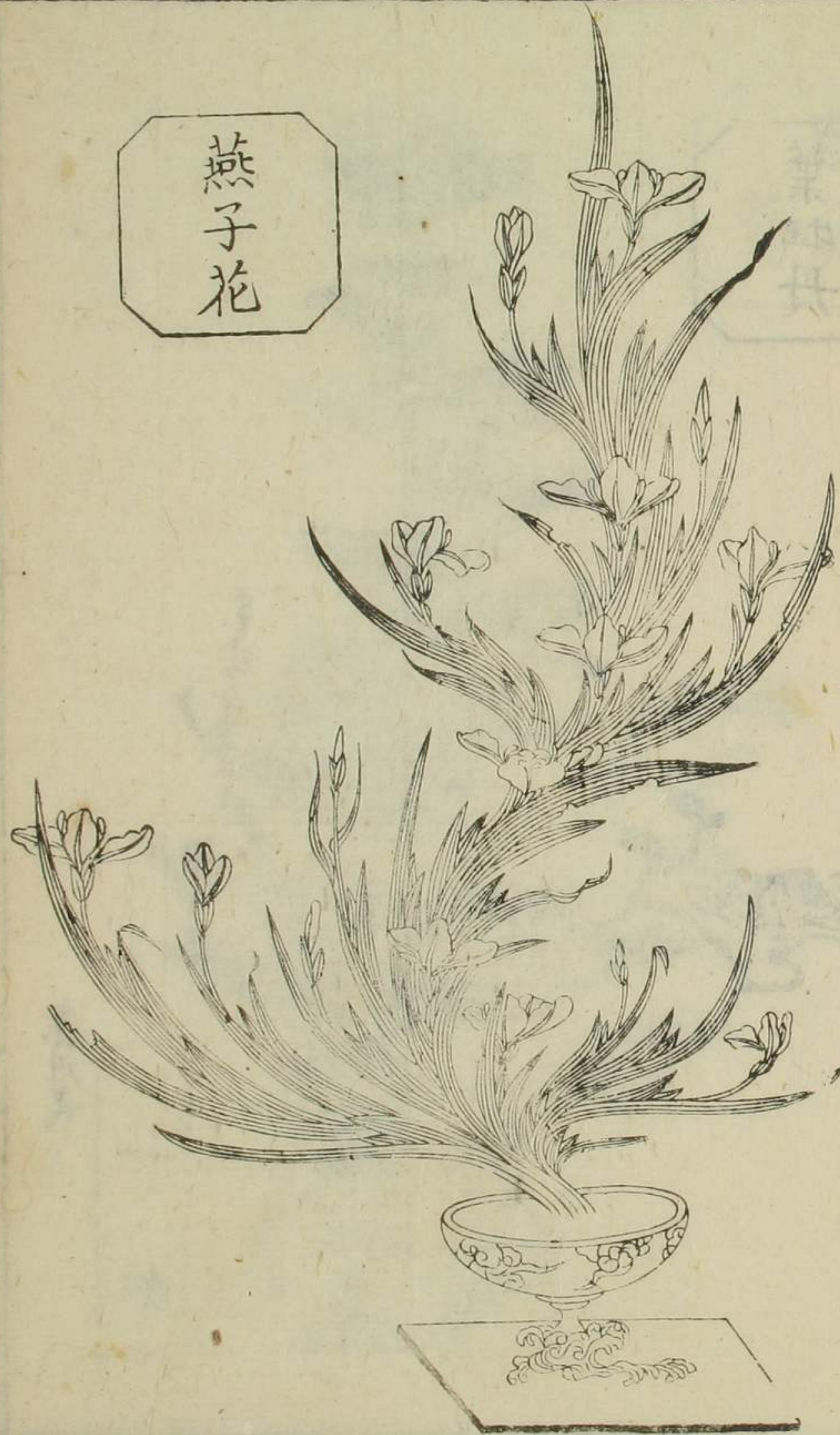
五屋氏
苗維松庵一我



彼岸
櫻

内藤氏
連松庵一圃

燕子花



北條氏

一寅

熊谷草

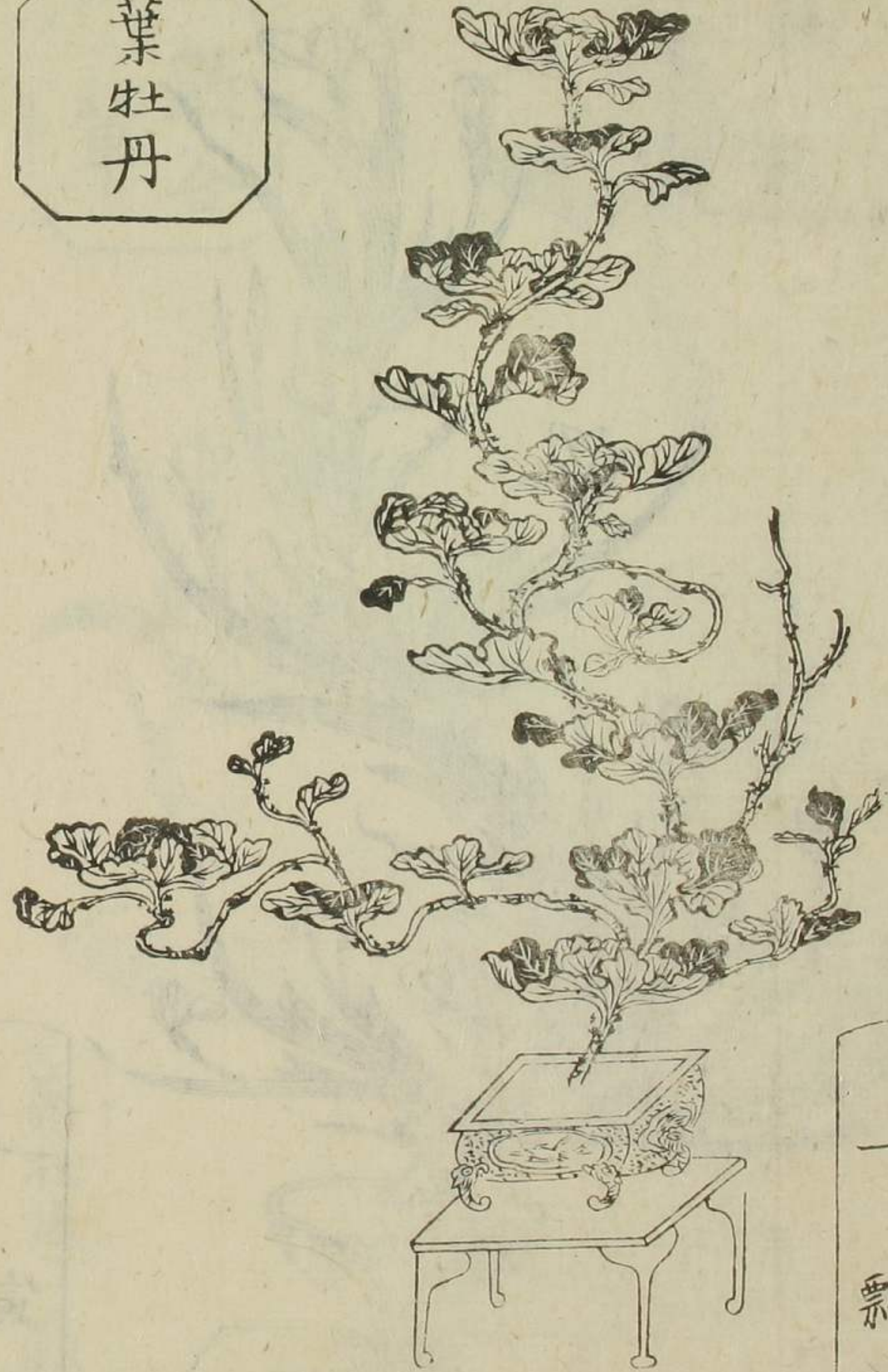


嶺松庵一龜

意匠再佈

畫苑再編

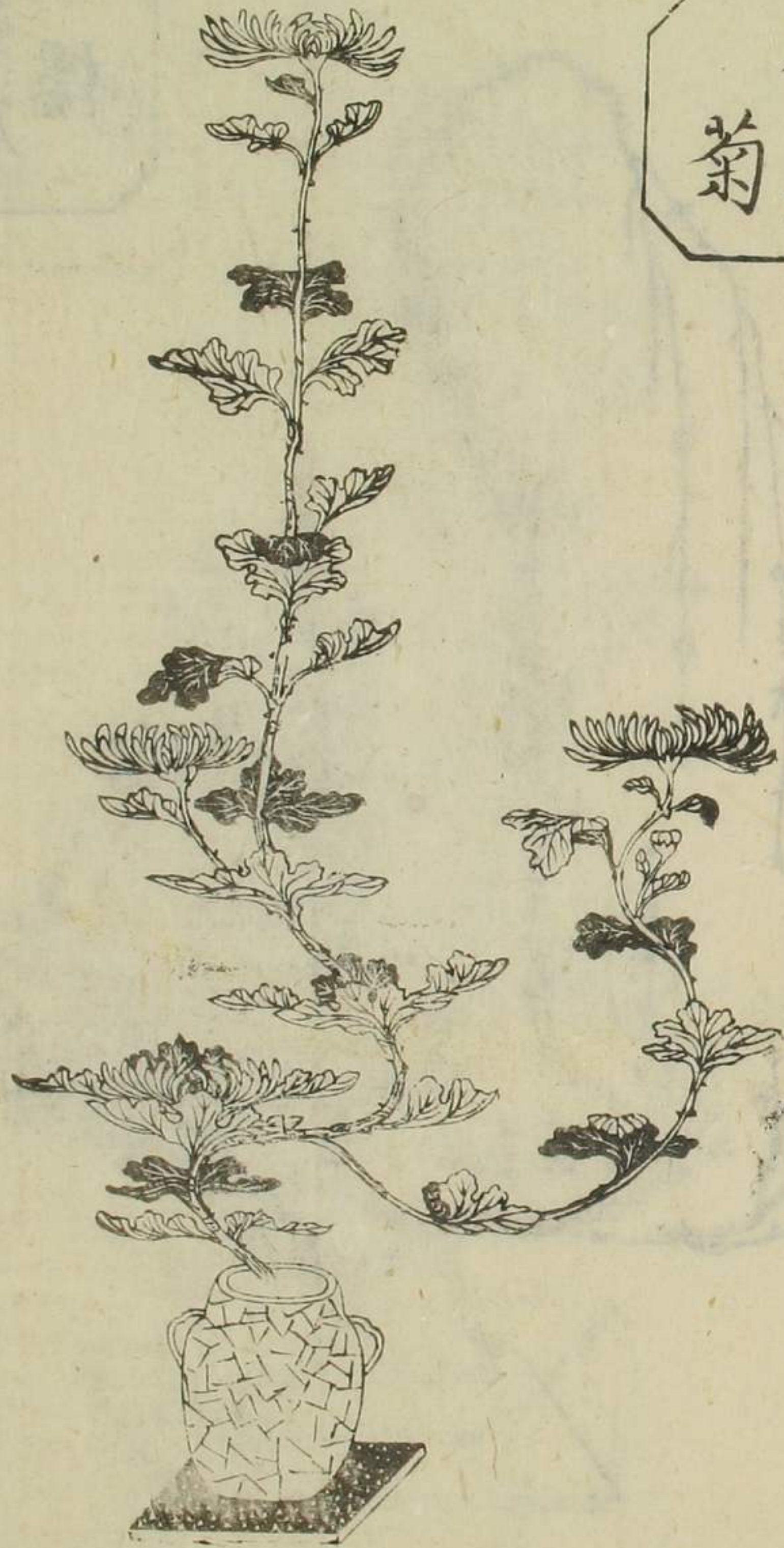
葉牡丹



森川氏

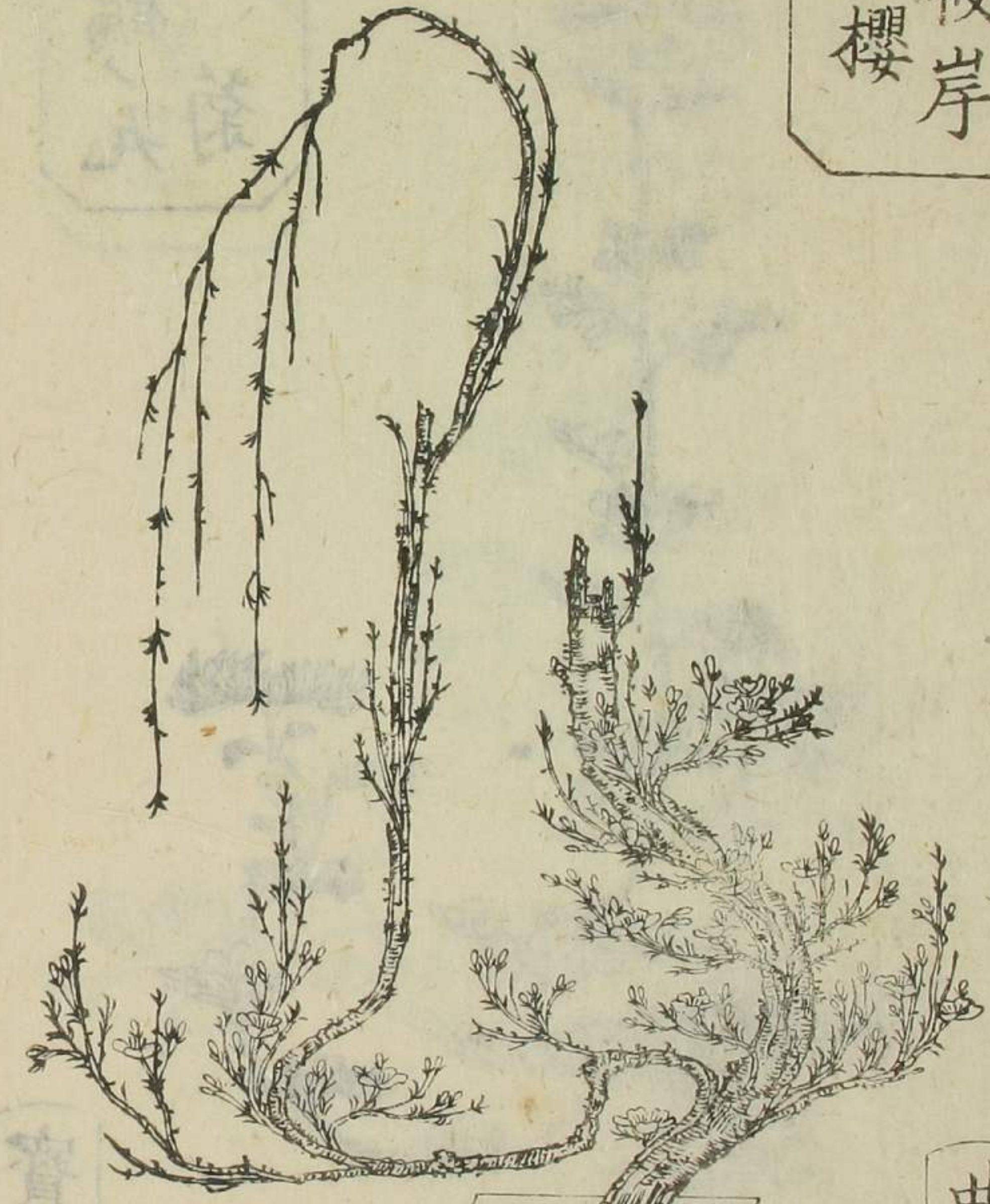
一
瓢

鶴ノ丸
菊



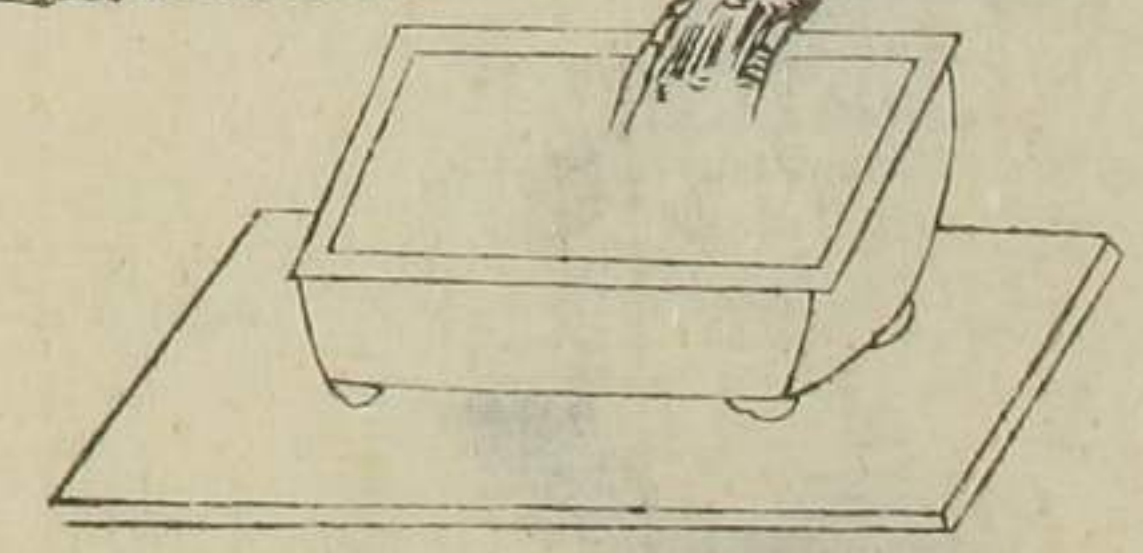
寶松庵一玉

彼岸櫻



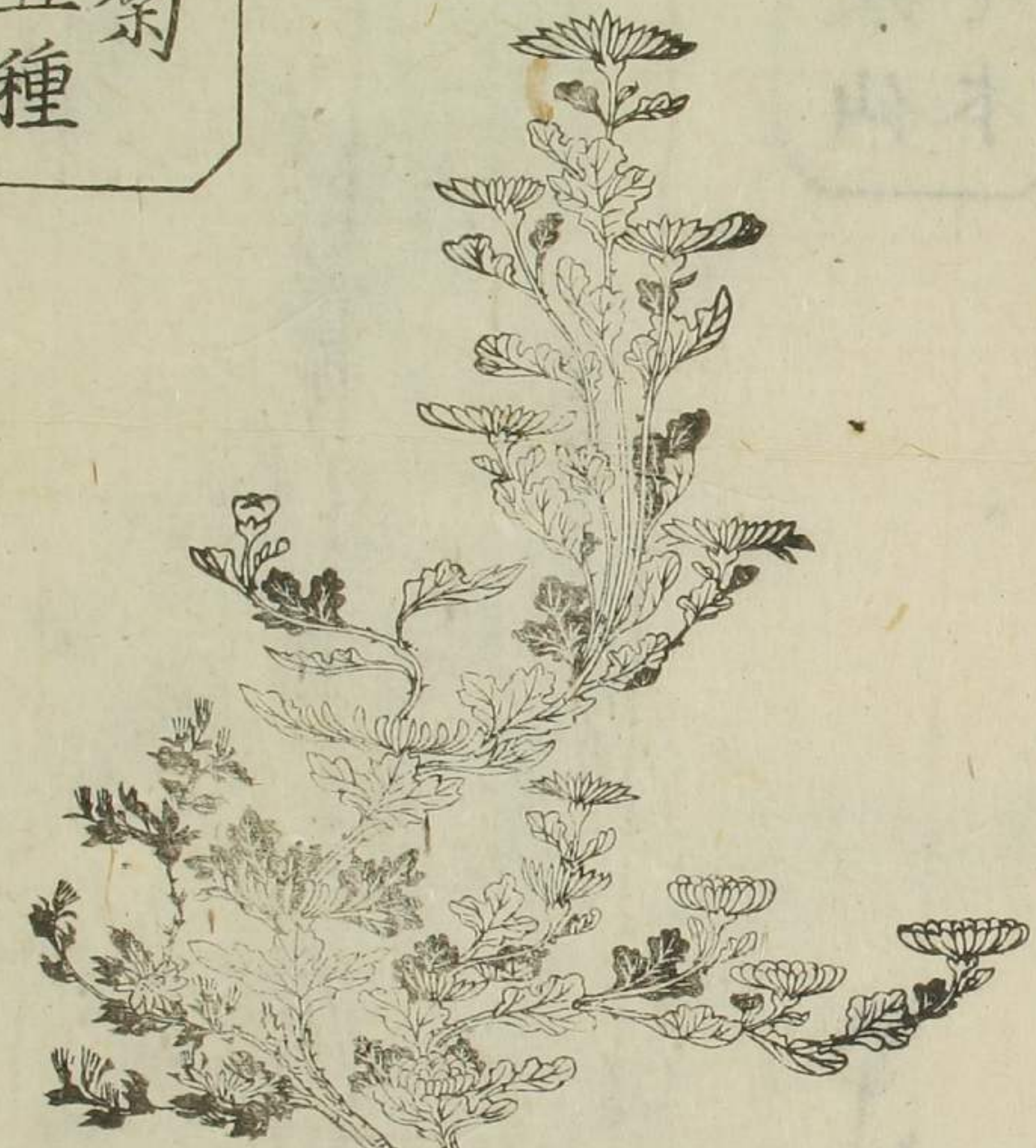
土屋氏

曲松庵一吾



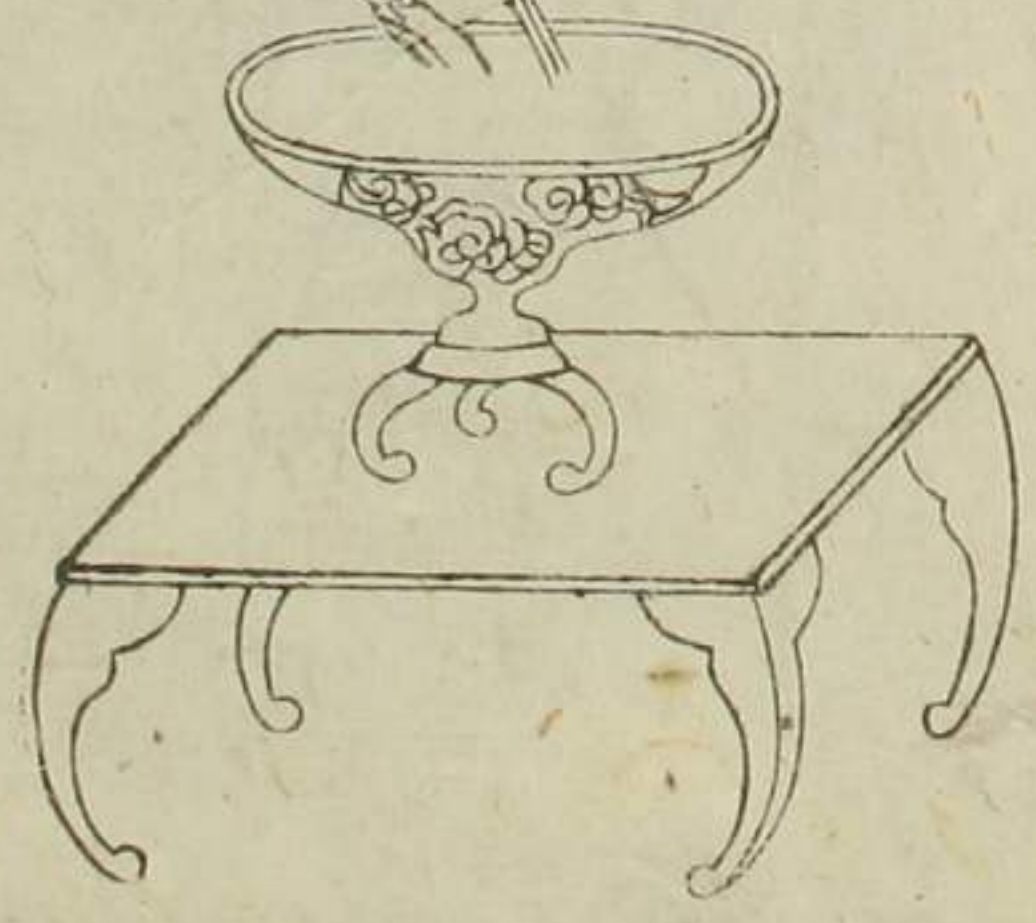
寶林齋一正

菊五種



安井氏

東松庵一潮

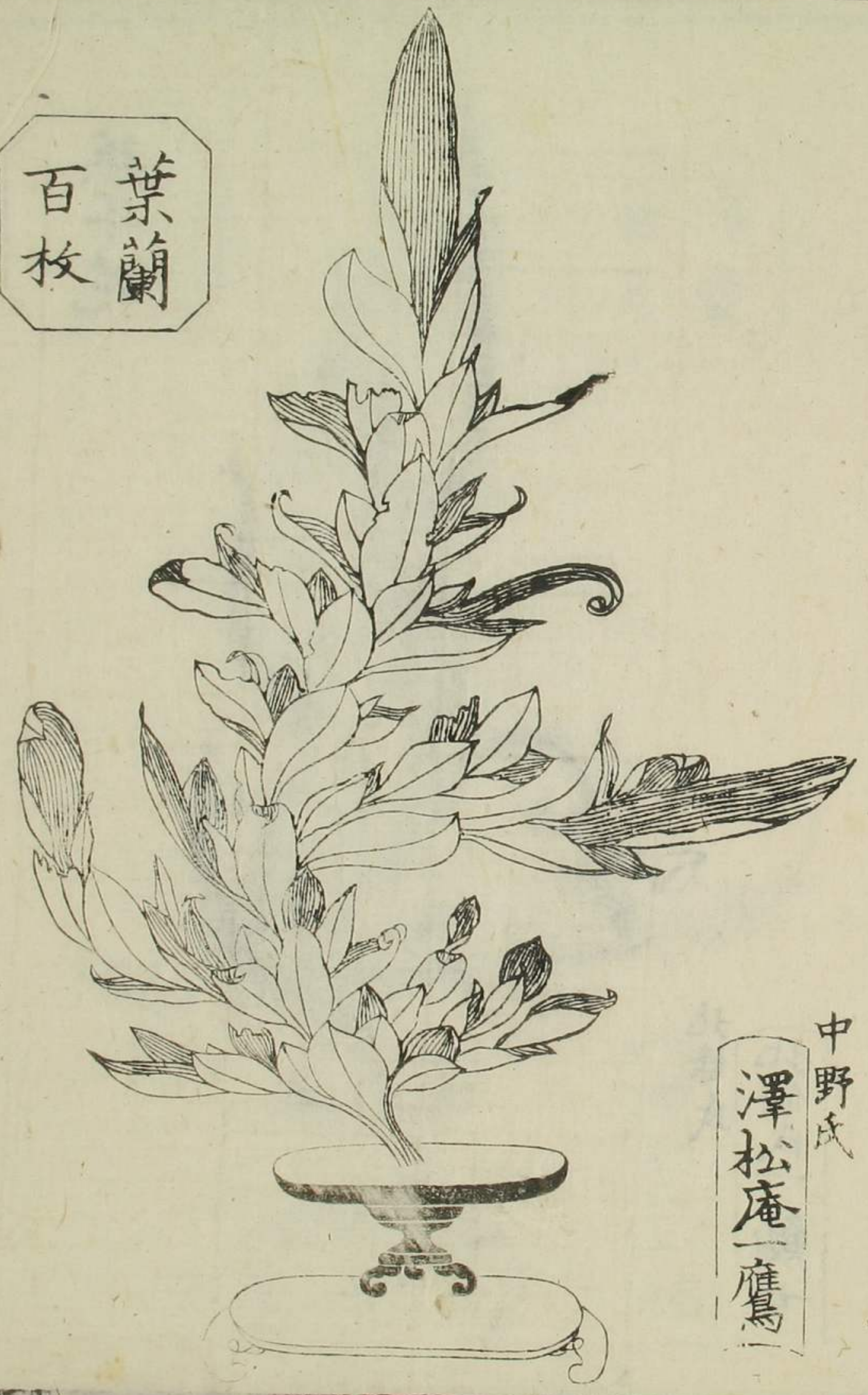


水仙
七本



越川氏
知松庵一之

葉蘭
百枚



中野氏
澤松庵一鷹

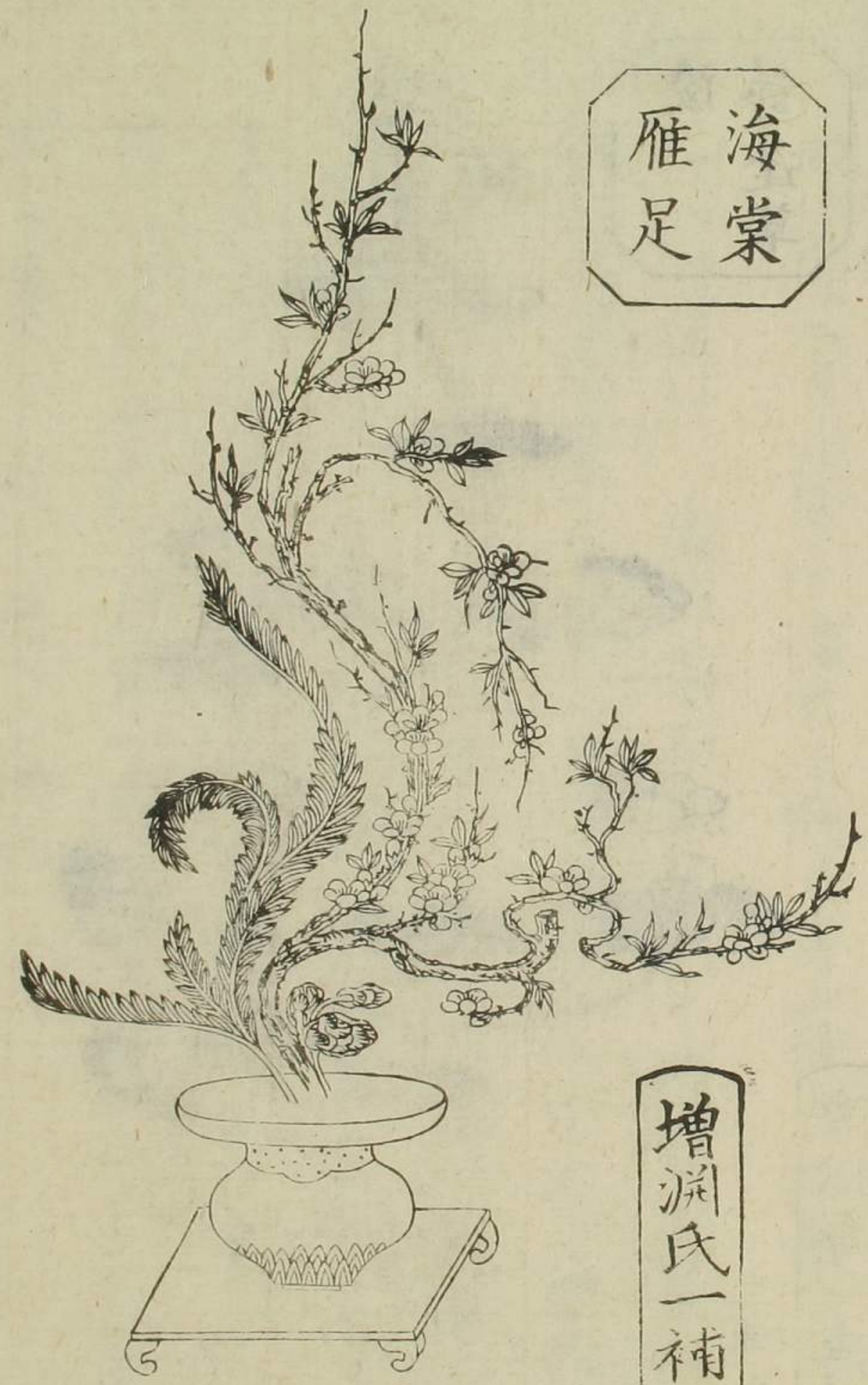
燕子花



北條氏

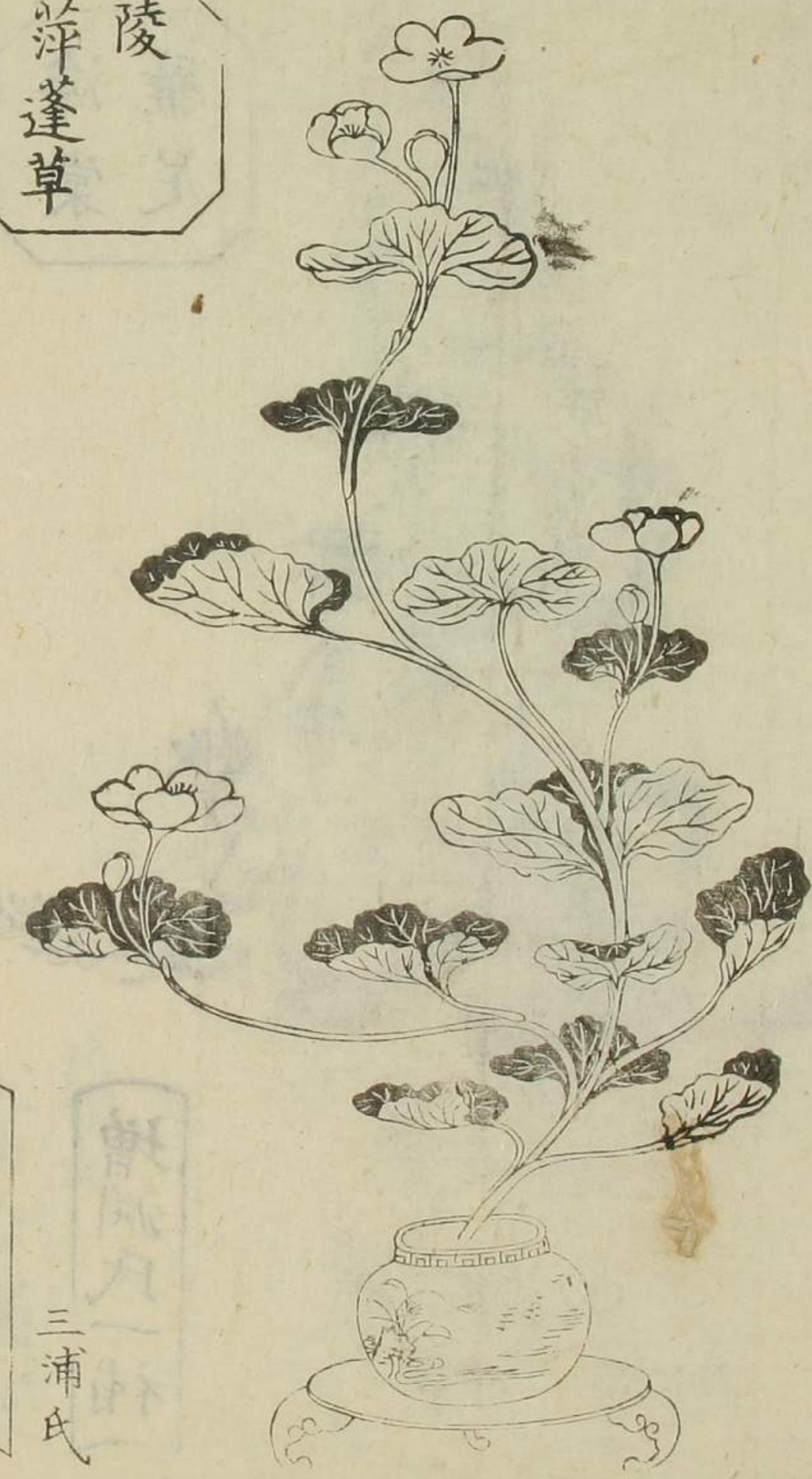
北條氏一鱗女

海棠 雁足



增淵氏一補

陵
萍蓬草

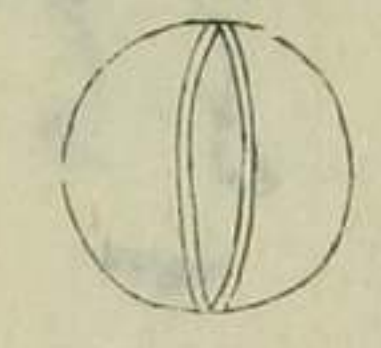


浦松庵一壽

三浦氏



丸木と割て開き道は事ハ安永の頃春秋軒一葉君の
始る處たり是きて諸君も我も専小用一あり

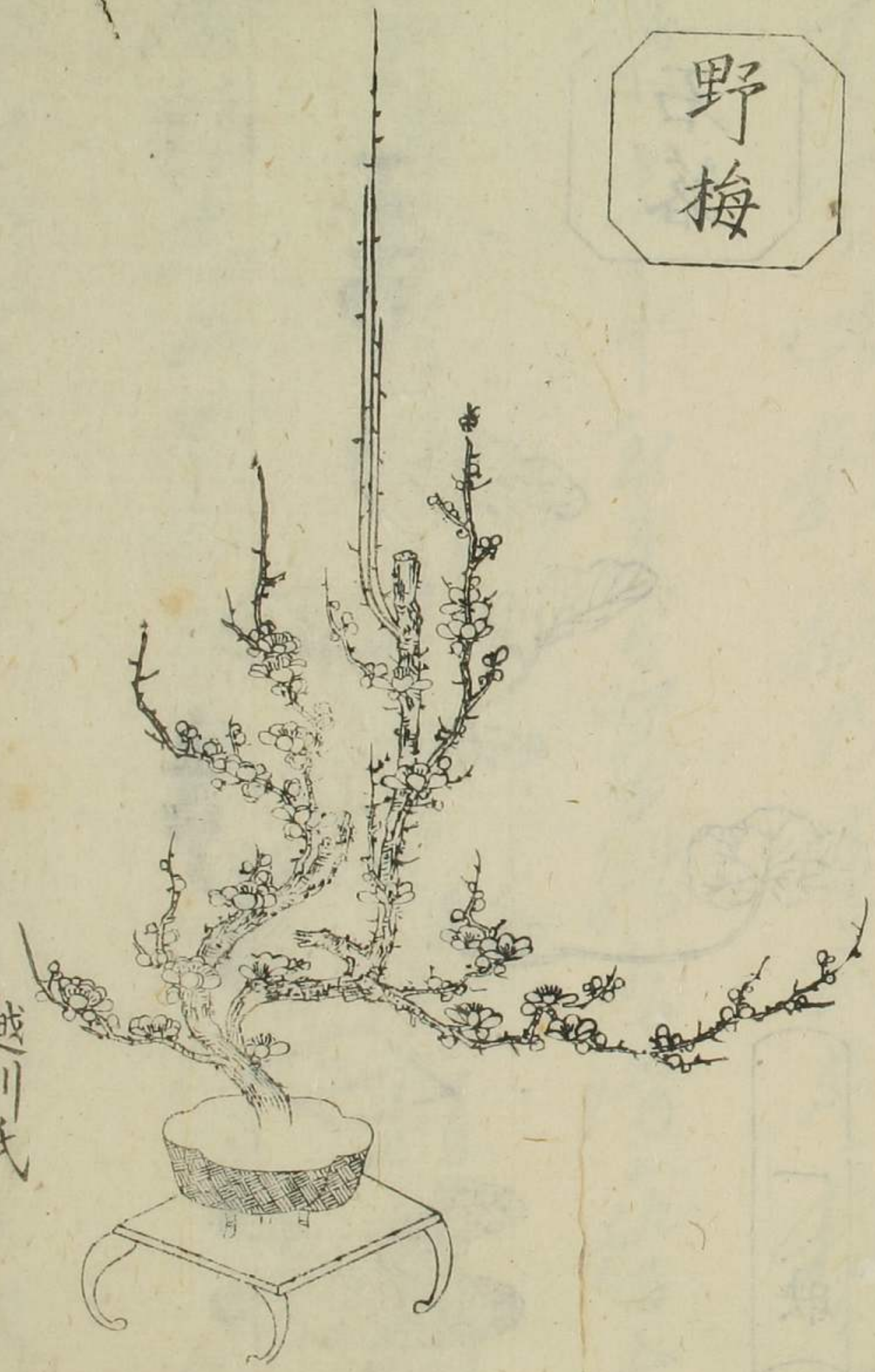


予り自得せし處の藥研配ハ文化の頃始るは最初の
諸君の笑と受しとをとの今ハ漢の一人又ハ他流も
専ら用る事といなりぬまのよぬは各々小門業と
持るもはまの一壽の工夫せし成用るものありて
きれはまよふ工夫せしあは言ぬしと専らよ
用るなりされと諸君一人も多く用ひたまの成
我も喜のしと思つる而已

里松庵誌

君之記述此中所以語之文詞皆先年
 所一安款意且上志也一安有也
 板木構告也一取皆略一之素又
 結一向在記一思余年一處為終
 前篇在見六也為一

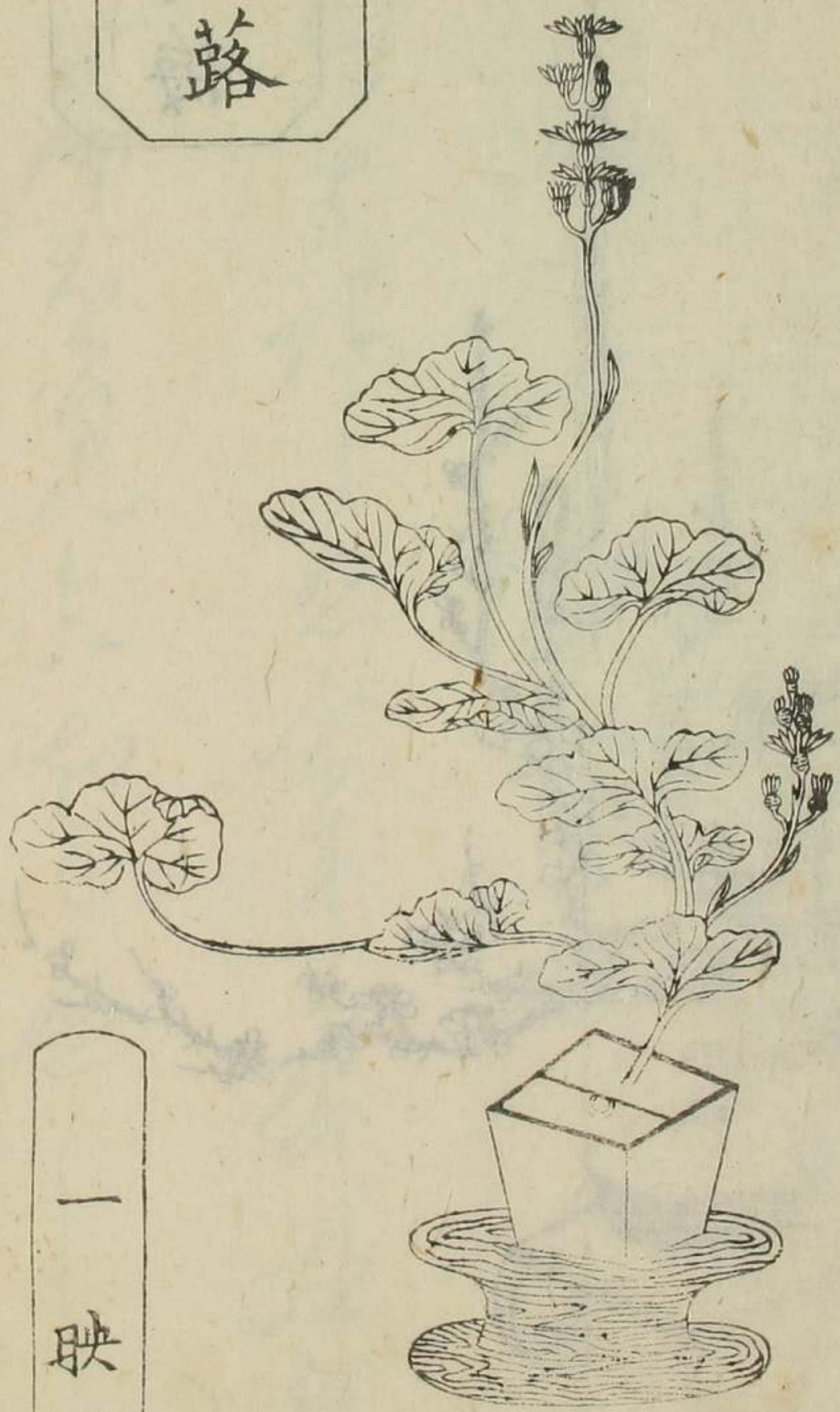
野梅



越川氏

知松庵一之

石路



一映

亦之此数瓶乃图式也我々以
 葉末年之末乃葉結之葉子結古
 或名會席結折石形の約
 合根志如石の如魚子挿入し
 形を結平字一置漸々子結

菊類之入冬四時の混在表流先
位以不同杯ありて用括ありて也
三月十一唐子夏乃日

在都 淺草山名

六千始箱 甲松尾一壽撰



薄

生娘菊



女松庵一樂

遠藤氏

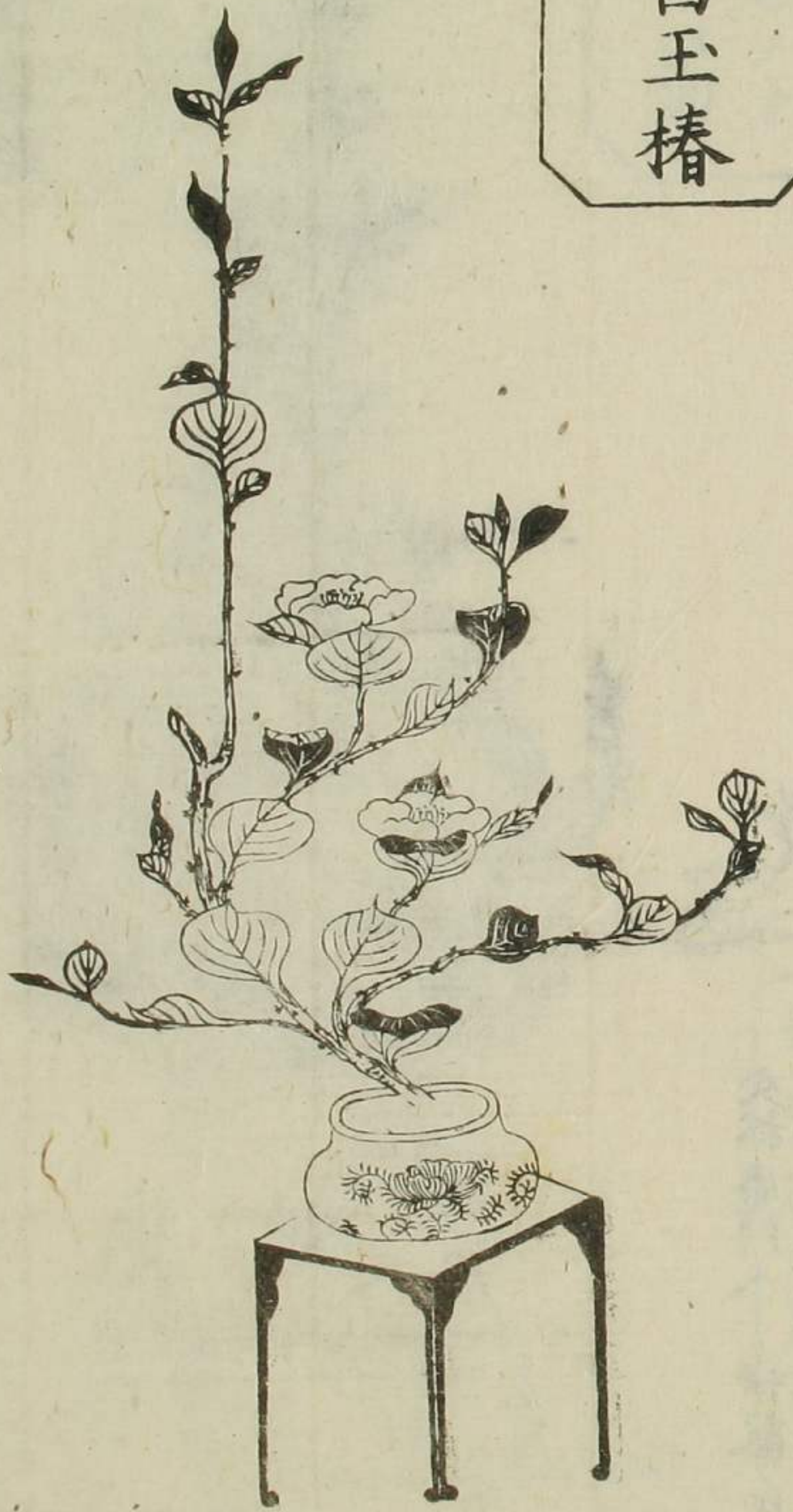
明の鶴
芍薬



主幹
節

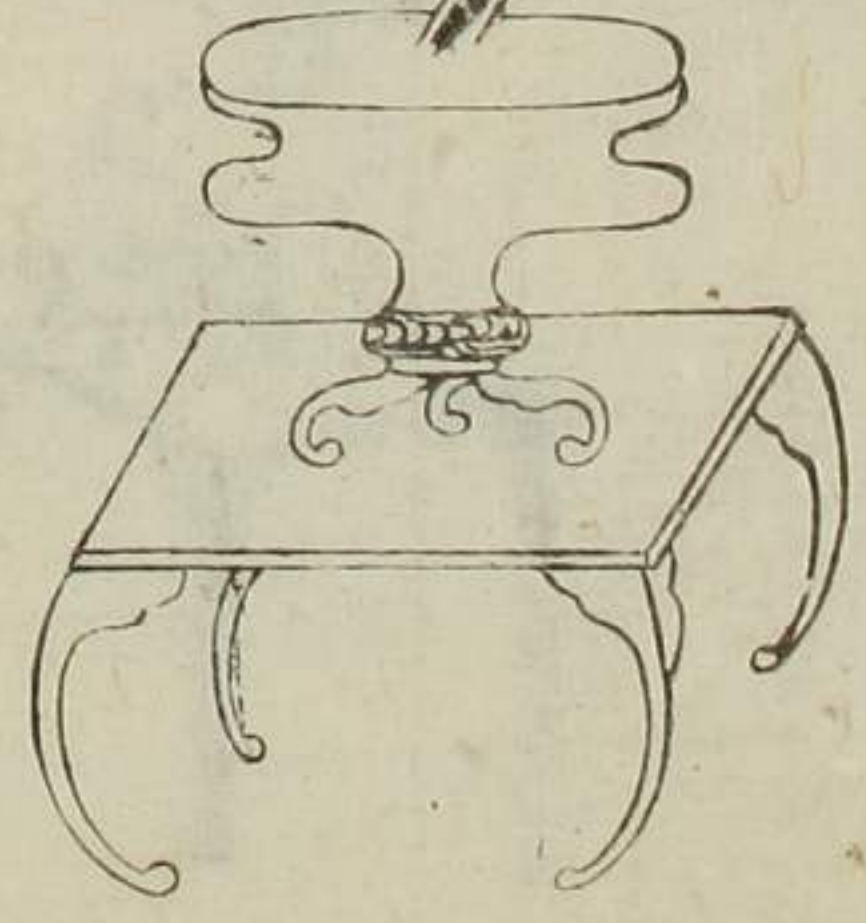
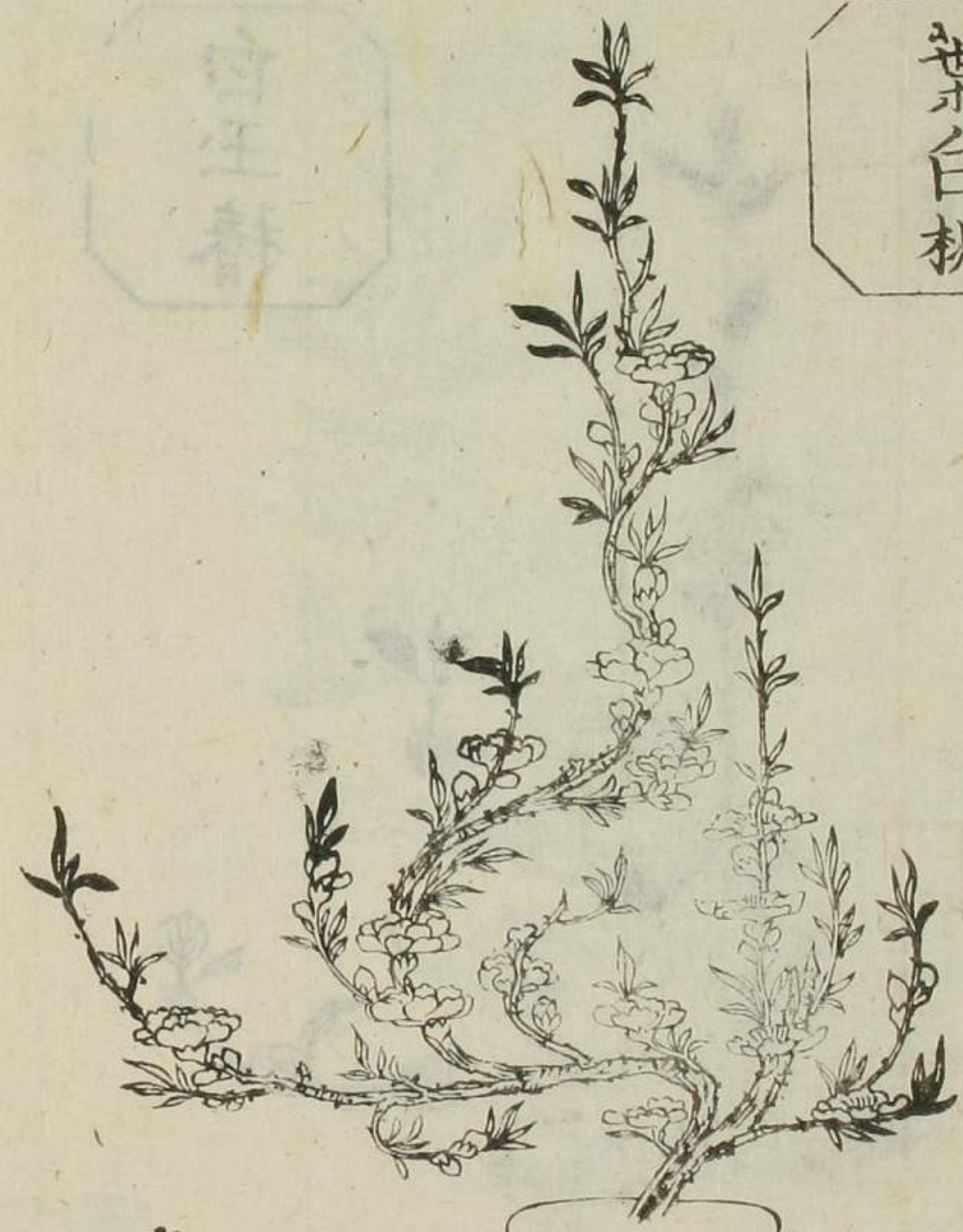
和田氏
庭松庵一桂

白玉椿



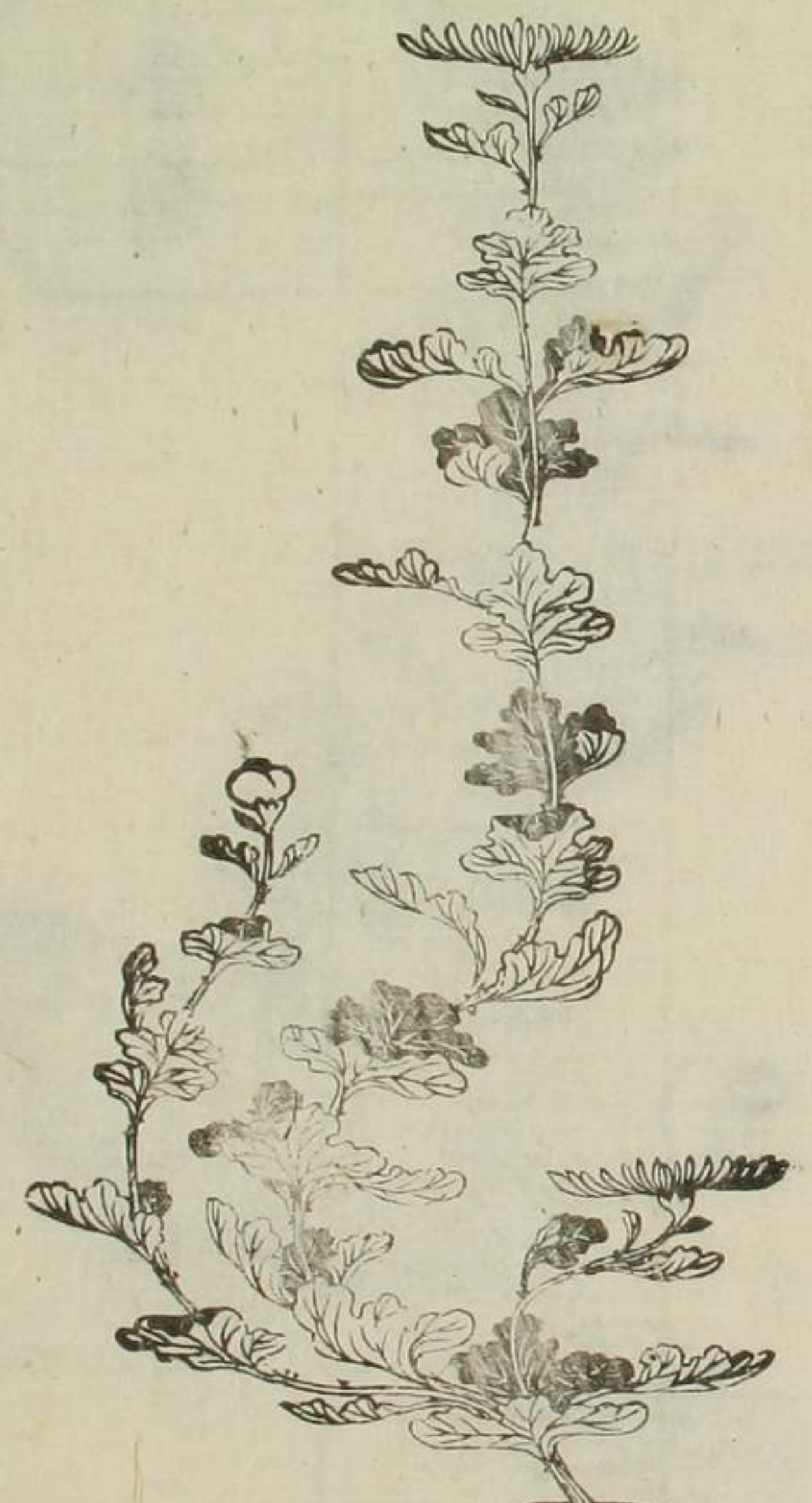
交松庵門人 嶋氏
雲交庵一龍

葉白桃



交松庵門人 伊藤氏
全交庵一曲

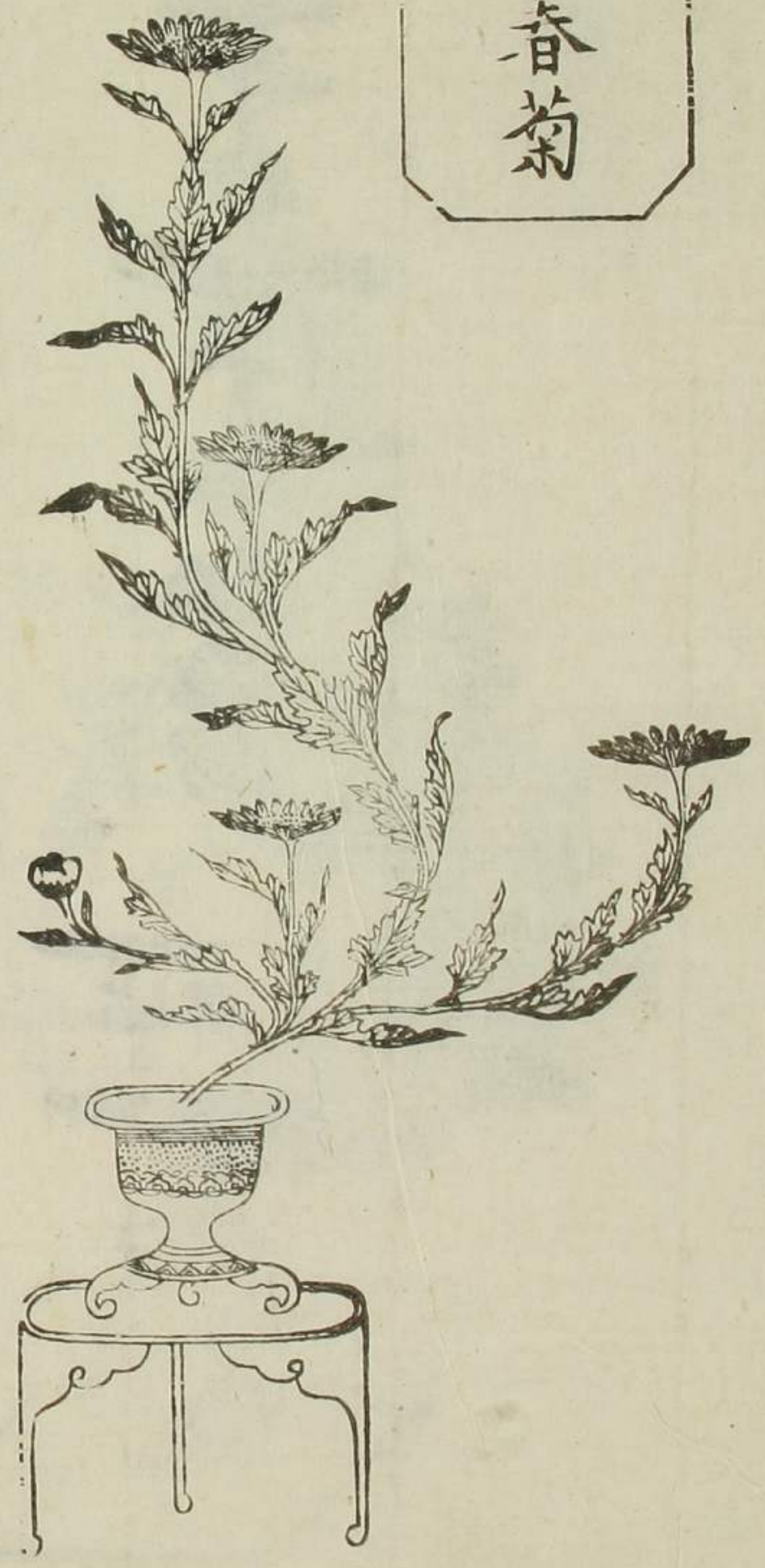
夕マノト
菊



竹交庵一虎

交松庵門人
伊藤氏

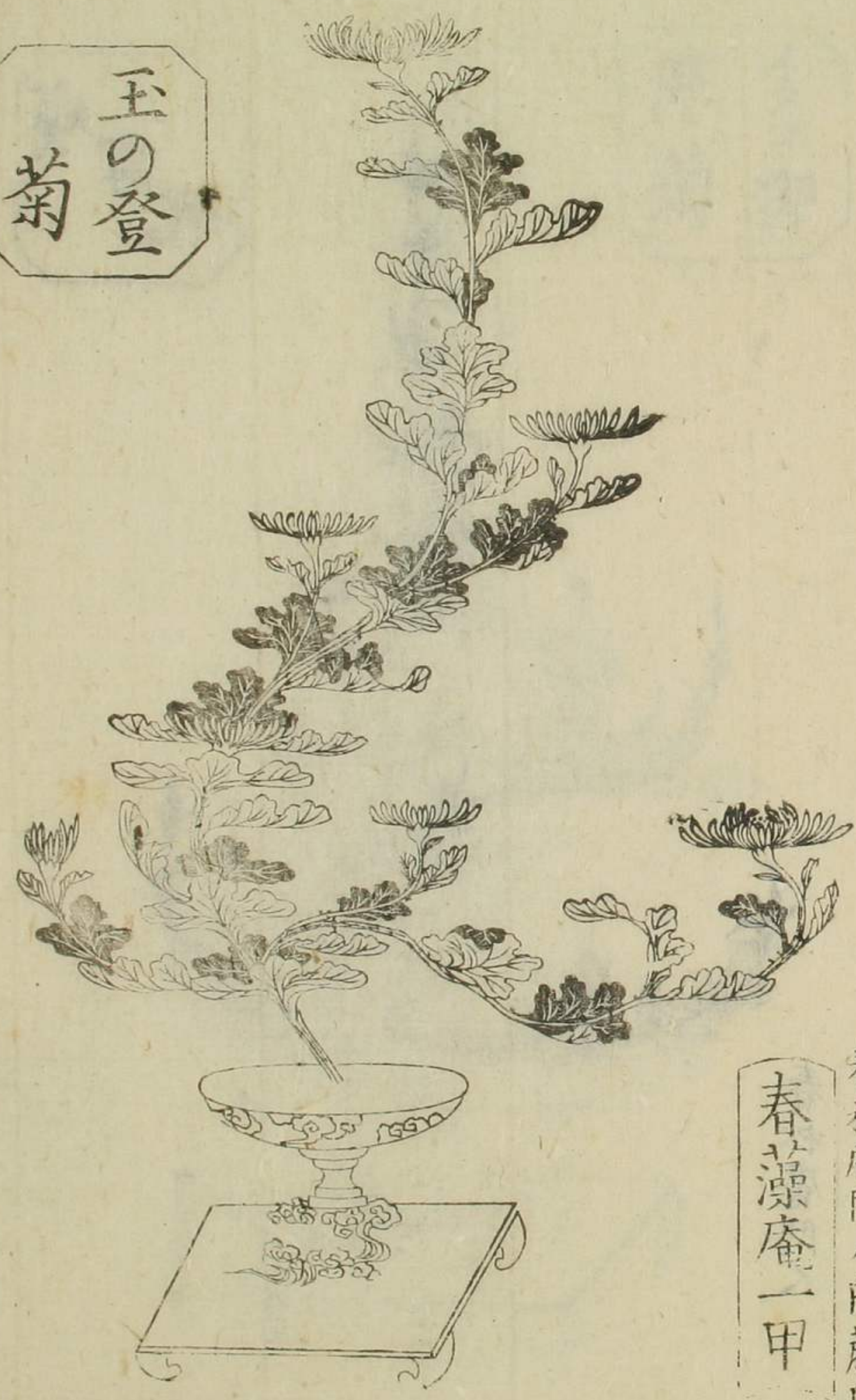
香菊



文松庵門人渡邊氏

一 雍

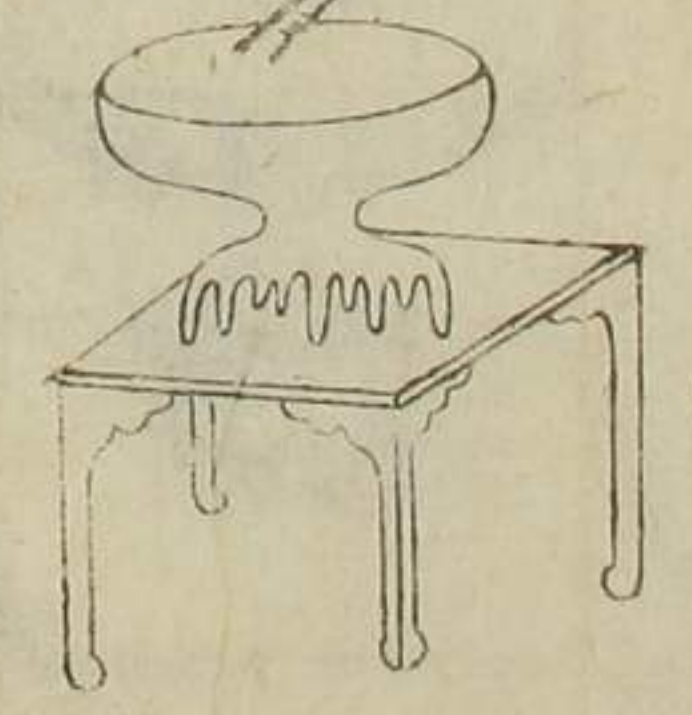
玉の登
菊



春松庵門人内藤氏

春藻庵一甲

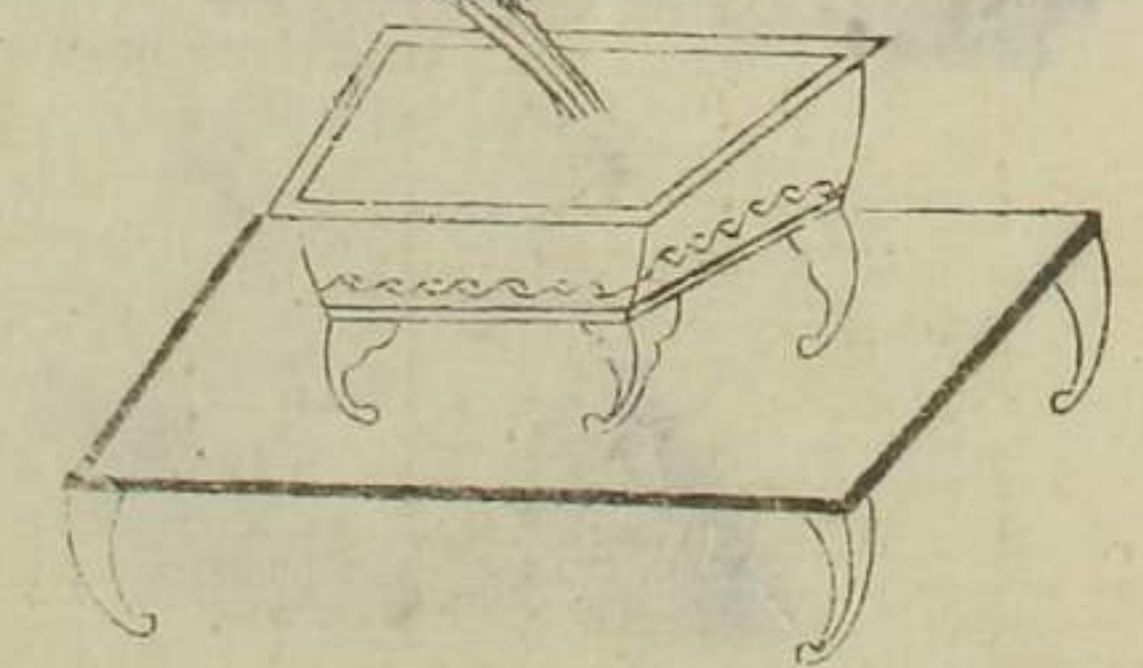
殘雪桃



春松庵門人

藤懸氏一藤

イコ柳
寒菊



春松庵門人
下總府馬

鈴木氏一敬

北
菴
葡



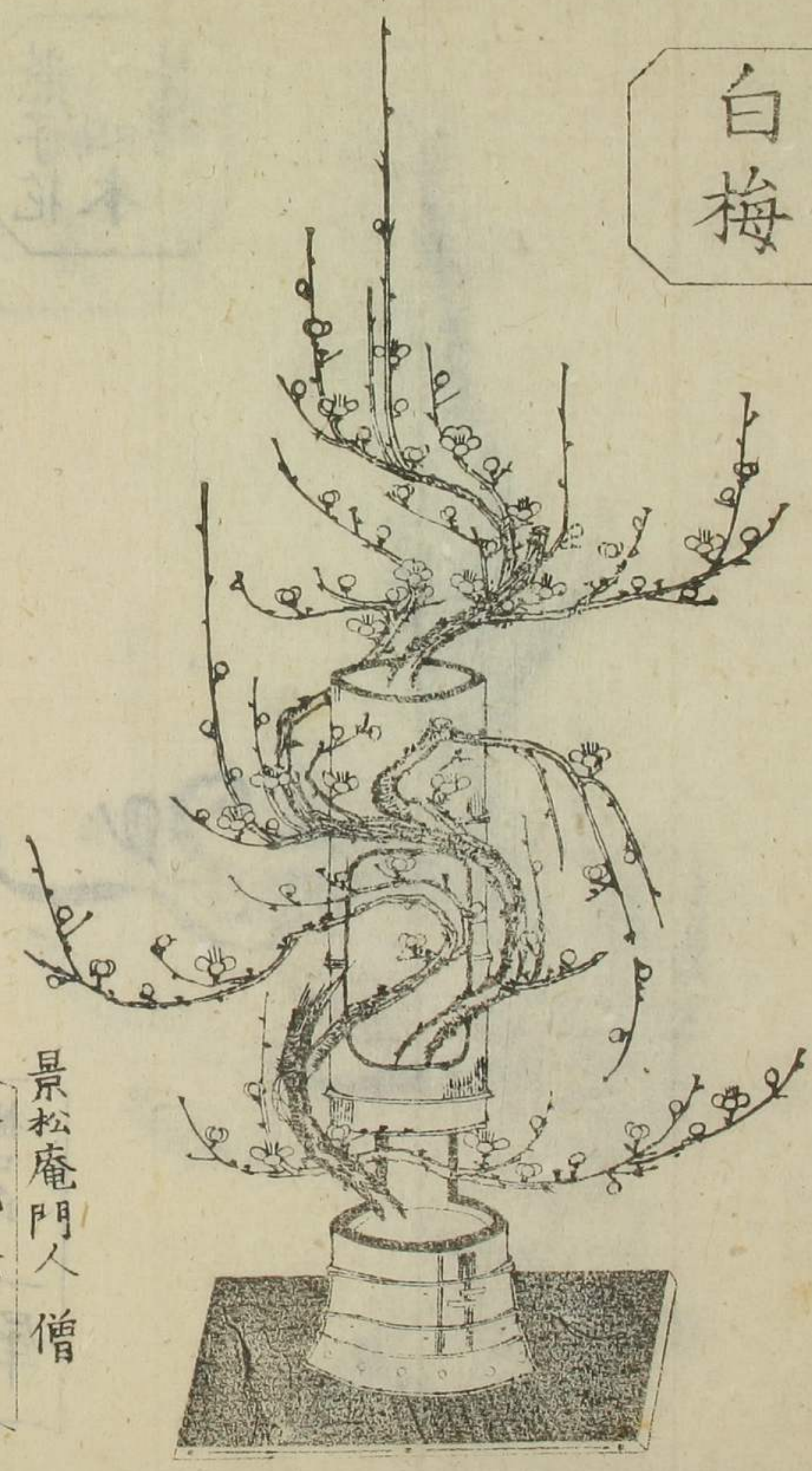
景松庵一泉

燕子花
四本
口傳



景松庵明人
樋口氏
一屏

白梅



景松庵門人僧
蟠龍庵一薰

葉蘭
拾壹枚



景松庵門人
櫻井氏一重

工三齒
長春



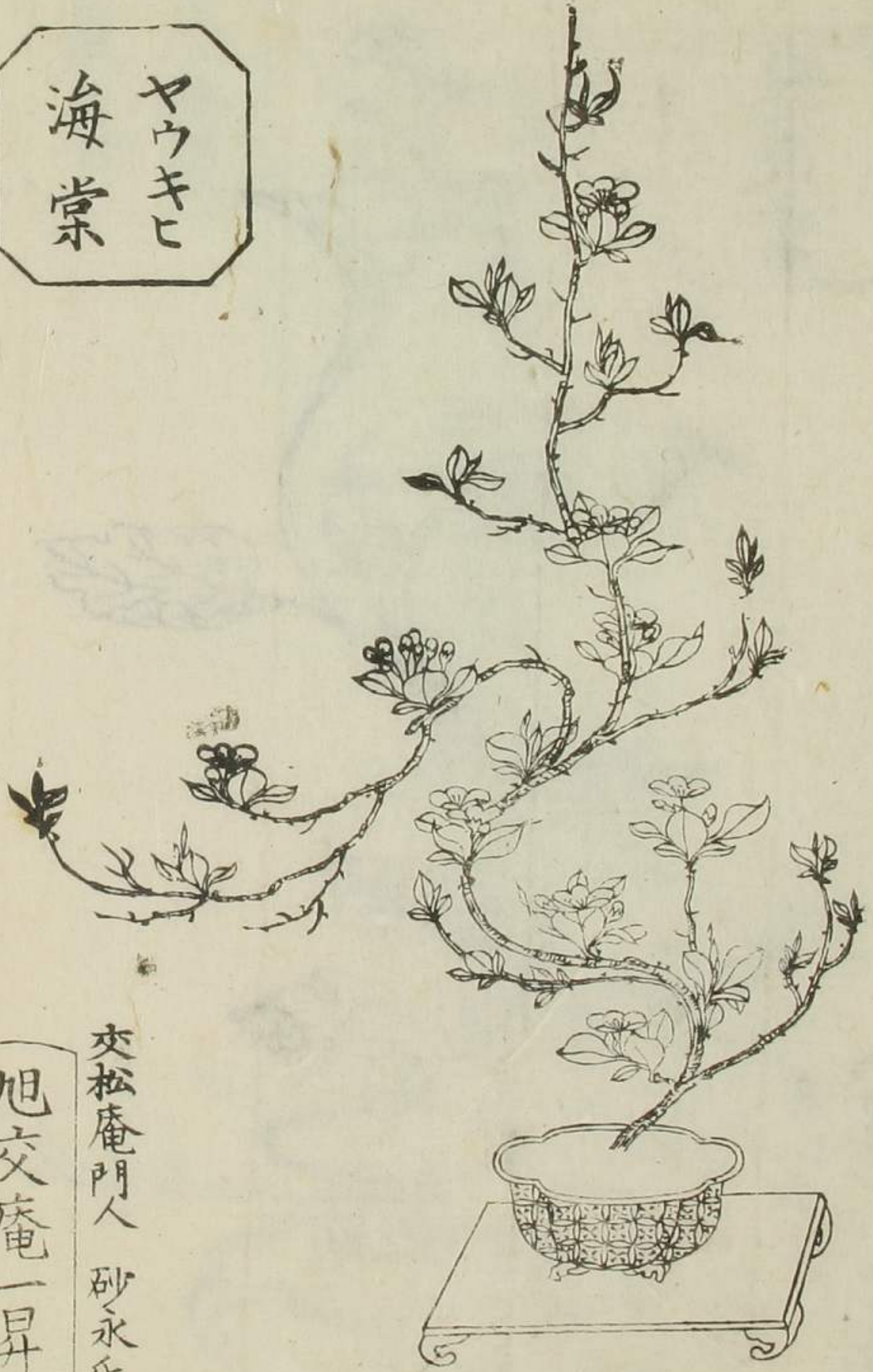
景松庵門人
安藤氏一勝

秋海棠



景松庵門人
川崎氏一備

ヤウキヒ
海棠



交松庵門人 砂永氏
旭交庵一昇

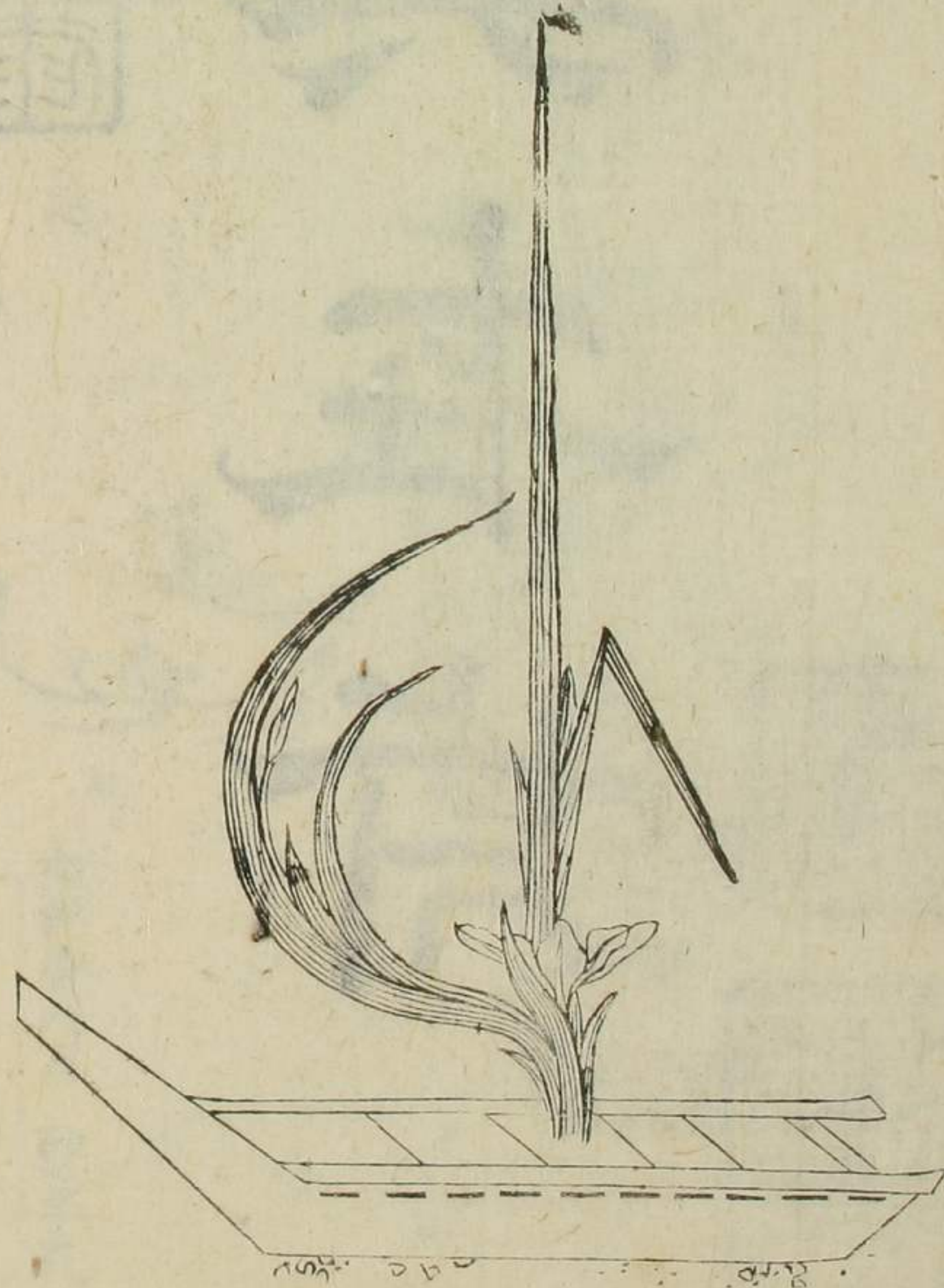
齊窓蘭

具在翁

齊窓蘭

具在翁

燕子花



里公巻九平
鶴松庵一岡

梅檀の二葉の頃を徑て大木となり松枝の
鶴つ子もたや鳥の丹情とらけて巢と
飛つるもの也

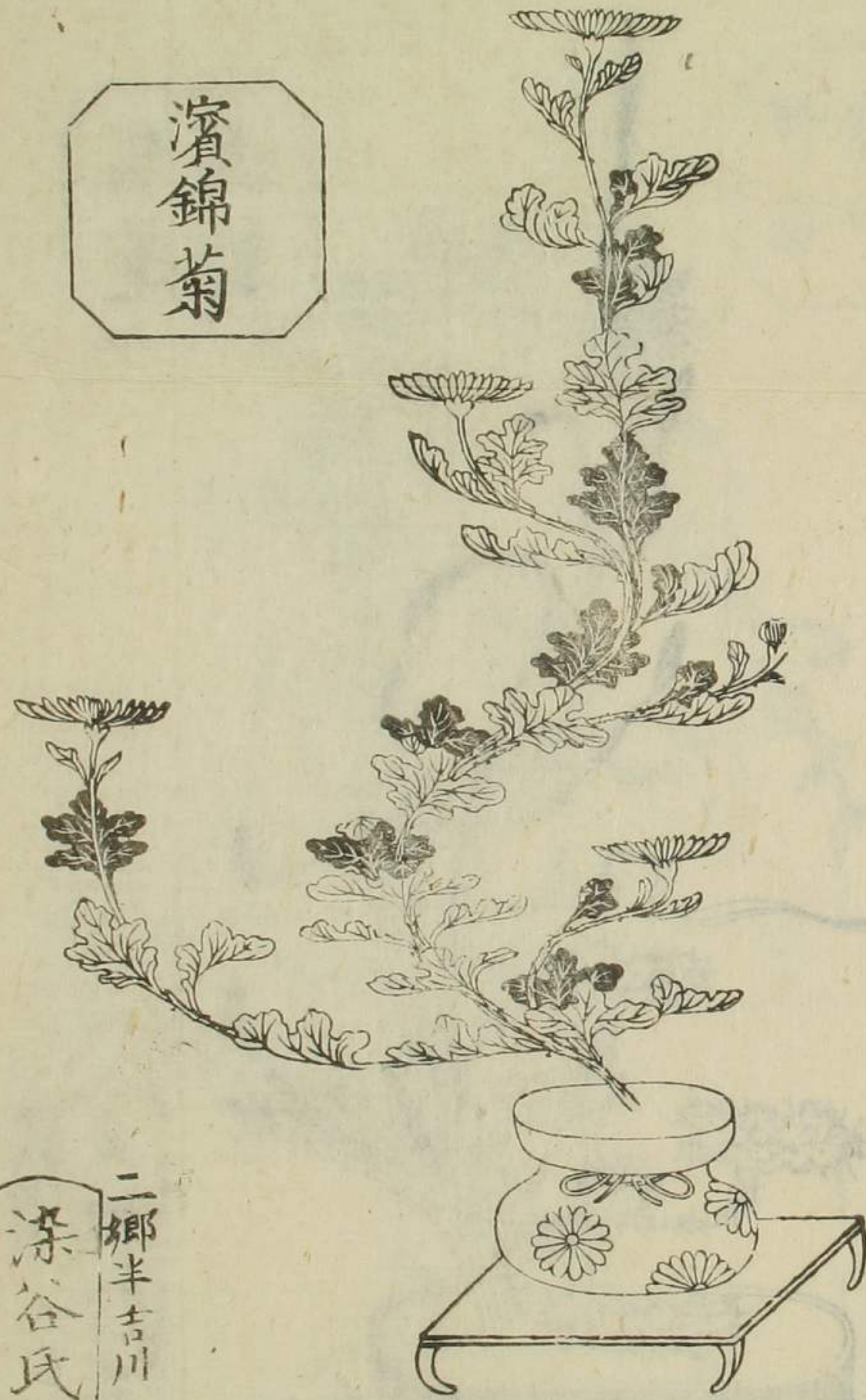
原崎れ
ねのるおや

わらふやう

鶴松庵一岡



濱錦菊



二郷半吉川
深谷氏一松

水仙
五拾本



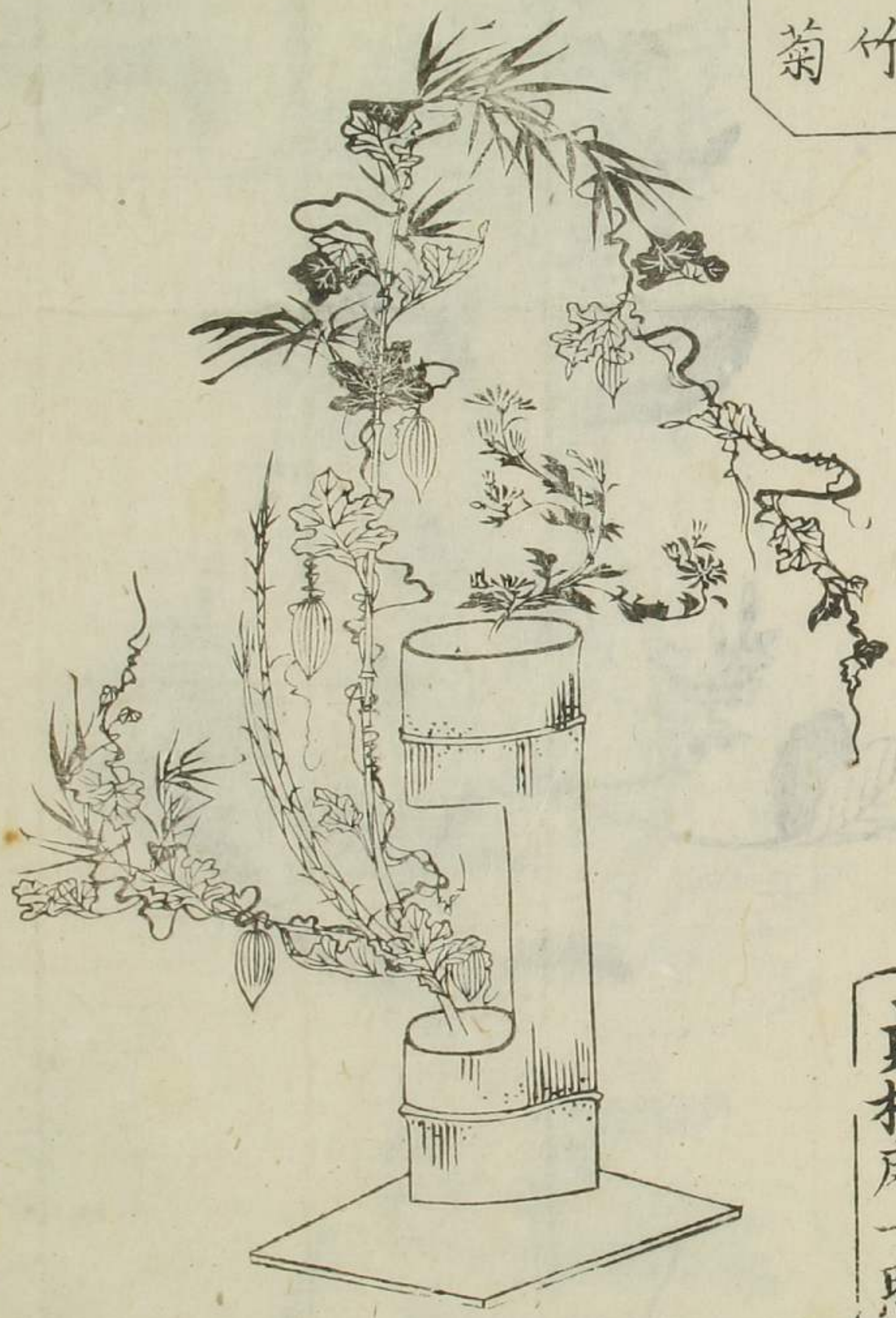
里松庵倅
鶴松庵一園

鬼蓮
真薦



下総野田
大塚氏一美

烏寒野
瓜竹菊



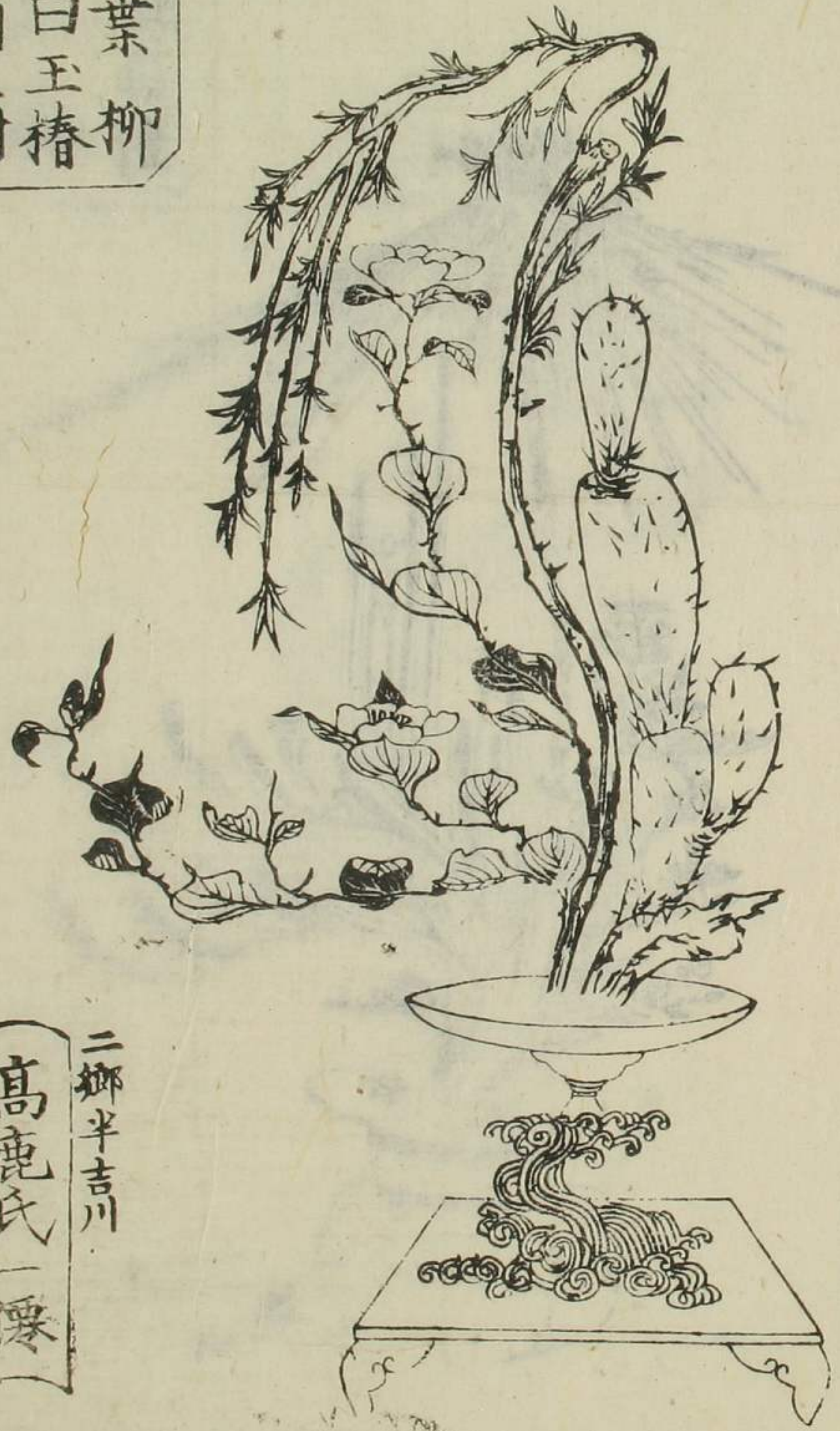
下総水野時僧
貞松庵一照

三ツ拍
草



能勢氏一勢

葉柳
白玉椿
霸王樹



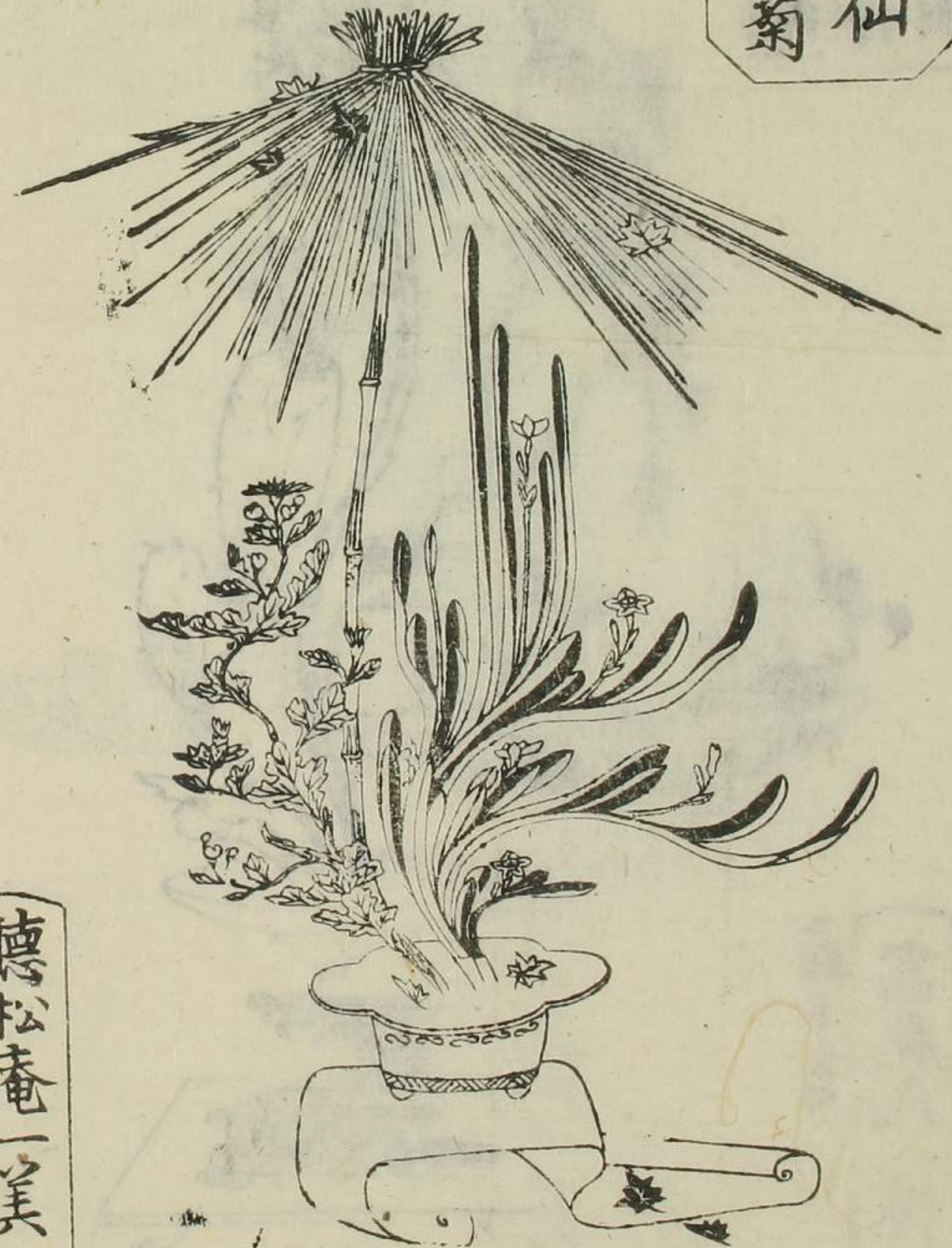
二郷半吉川
高鹿氏一儼

射干



下總野田
杉崎氏一廣

水仙
蛇目菊



聽松庵一美

白牡丹
菊



二郷半吉川
鈴木氏一竹

大川亦深淵のあはれをいひし深きも河村
 其の底を採りしを深淵を知らず人不知
 入るべきを移のまゝにをいひて鳥は水紋
 冷ふも其の底を待てる相を李流花を
 其のふりたの極にまゝに深淵をいひ

そのよき目的のまへに我射るに動じ
只ゆるぎをたてておぼしむる不潔
ともしし聖遊苑たりしやみ極
まに玉も聖蹟たるもの入る
るに里松庵のま中興挿花の道

開き最妙の真を極く前後を
極みそ葉の遠く安き越す風
あかしの梨介の上におもひを
まらぬ挿花のまをたてし
美より入る且實を極く早く

此業此的り南はるる事手

多年表に招きく實を採りて

かめ末の良底の海に魚を感も味

錦に華鼓やるる 能勢氏之

花名 海松尾一瀧

天保庚子に書



藏版書目

莊子 因	雅言童諭	釋加一代記圖繪	花洛名所圖繪
蓋頭傳習錄	西行物語	往生要集	十三体千字文
劉氏人譜	吉野拾遺	平カナ御文章	日本立志編字類大全
增注荀子	百人一首像讀鈔	片カナ御文章	明治國史纂字解大全
韓非子解語	和歌梯	繪本初心道志る危	日本政記纂語字解
春秋左氏傳校本	和歌麗の塵	古畫要覽	國史畧字引大全
後藤點四書	詞のやちまた	易學楷梯	文明いろは字引
後藤點五經	詞のやちまた語釋	冠玉百人一首	新撰普通字典大成
後藤點小學	冠附十會すまい	神皇正統記	いぬは數字引大成
同	四季部類大全	鳩翁道話	小笠原諸禮大全
編類六書通	てには紐鏡	近古史談	數學稽古本
箋注蒙求校本	えいの枝折	増注文章軌範	明治新撰幼學便覽
同	俳諧日本名所風月集	西國立志篇	規象全誌
墨場心携	俳諧七部集	栗園文稿	唐詩選
菜根譚	俳諧さ、さかむさ	相學辨蒙	日本名婦百人傳
古文眞寶校本	冠導原人論解	造物趣向種	妖怪百物語
校正古語拾遺	四教義半字談	廣益秘事大全	淨るり美聲のえらべ
玉鉾百首解	元三大師御圍繪抄		
祝詞白文	佛像圖繪		

川勝鴻寶堂

京都市寺町通
綾小路南入

